



2025年7月5日

ブルーカーゴ株式会社

第92回 2025年6月度安全衛生委員会

開催日 2025年7月5日(土) 15:00~16:00

開催場所 柿安シティーホール 3階会議室

- 1) 全員唱和 (水谷社長)
- 2) 議事進行 (安全管理者)
- 3) 6月発生事故検証 (対象関係推進員)
- 4) 報告・審議事項
 - ①NTN 三重製作所安全衛生委員会要旨報告 (衛生管理者)
 - ②安全パトロール報告 (衛生管理者)
 - ③各部署別月間安全取り組み結果及び計画 (各推進員)
 - ④ヒヤリ・ハット体験状況報告 (各推進員)
 - ⑤労働災害統計報告 (衛生管理者)
 - ⑥その他報告事項
 - ・第98回全国安全週間行事実施状況 (衛生管理者)
 - ⑦審議事項
 - ⑧要望、意見、連絡等
- 5) 第93回 2025年7月度安全衛生委員会開催日予定
8月XX日 11:00~12:00 NTN 三重製作所 第三会議室
- 6) 閉会のことば (総括安全衛生管理者)

安全管理の基本理念

- 一. 安全は全てに優先する
- 一. 安全なくして生産なし
- 一. 生産なくして会社の繁栄なし
- 一. 会社の繁栄なくして従業員の幸せなし
- 一. 安全管理の原点は人間愛と責任感である

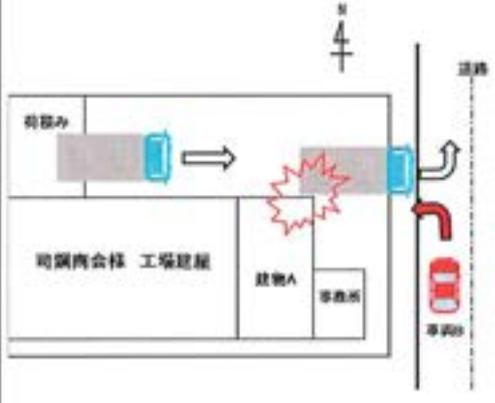
安全監督者管理の5大任務

- 一. 安全衛生の確保
- 一. 品質の維持向上
- 一. 生産目標の達成と納期の厳守
- 一. 原価低減
- 一. 職場の人間関係の向上

令和7年6月1日

ご安全に！

(人身、**物損**) 作業事故報告書

水谷社長 殿		提出日: 2025年 6月 30日		報告者 ブルーカーゴ課 新妻利昭			
分類	1.転落・墜落 2.転倒 3.激突 4.飛来・落下 5.崩壊・倒壊 6.激突され 7.はさまれ・巻き込まれ 8.切れ・こすれ 9.踏み抜き 10.おぼれ 11.高温低温の物の接触 12.有害物との接触 13.感電 14.爆発 15.破壊 16.火災 19.動作判定反応・無理な動作 20.接触 21.その他 22.分類不能						
事故発生	内容	事故内容を簡単明瞭に 場内退場にてトラック前進中に、車体の右後方側部が司鋼商会様の建屋角に激突し、破損させてしまいました。 誠に申し訳ありませんでした。		発生日時	2025 年 6 月 26 日 (木) 13 時 30 分		
	場所	発生場所 株式会社 司鋼商会様 本社第一工場(愛知県東海市名和町一番割下1番地)	車番	三重137ㄨ6	天候	小雨	
	対象	製品又は対象物 建屋角の壁2ヶ所を損傷 (写真左より、お客様建屋損傷、自車の事故跡)	内訳				
	事故に至った状況	① 荷積みを終わり、帰路のため道路へ出ようとした。 ② 建物Aを横切り、道路へ出るため左折ハンドルを切った。 ③ ミラーでは建物Aの角部に接触していないように見えた。 ④ モニターでは確認していなかった。 ⑤ 道路を北上して敷地内へ入ろうとする車両Bに気を取られ、早く退出しようとした。 ⑥ "ゴーン"という異音が開こえたが、自車との接触ではないと思ひ込み、そのまま運転を続けた。 ⑦ 帰社後、接触の跡を見て事故発生したことを自認した。		略図 			
原因	・後方側部と建造物及び周囲に接触なく安全であることをミラーとモニターで確認することになっていたが、モニターの確認を怠った。 ・他車両に気を取られ、焦りと慌てが生じてしまった。 ・異音に気付いたにも関わらず、降車して状況確認を怠った。		事故処理	直後対応 司鋼商会様→青山特殊鋼 上田様→当社 水谷社長 当社: 本人→青山請負 渡部→安全担当 西村→新妻部長			
損害	事故品 【修理】選別・廃棄 損害金額 円 対応時間 時間	社内での類似事故は?	有り・初めて				
再発防止	人的 (人が対応する内容) ・必ずミラーとモニターの両面にて、車両接触なきこと及び安全かつ確実に建屋を通過していることを確認する。 ・他車両が待機あるいは通過するのを確認し、安全を確保した上で次の行動に移る。 ・異音や異常に気付いたら、その場で車を降りて状況を確認し、異常が発生していたら速やかにお客様へ報告する。 設備 (設備で対応)	上司コメント 漠然と「安全確認」とか「基本動作」の言葉ではなく具体的に書く ミラーだけでなく、確認しずらい部分モニターも見ながら運行して下さい。				日付	7月2日
(写)送付先		総括安全衛生管理者	運行管理者	安全管理者	衛生管理者	事務局	安全衛生推進員

注)①太枠内は当事者記入・不明の部分は空白
注)②事故発生後2日以内に提出



2025年6月20日

関係者 各位

交通災害防止委員会

夏の交通安全県民運動における立哨実施について 案

標記について、7月11日(金)～7月20日(日)10日間、夏の交通安全県民運動が実施されます。この運動は県民一人ひとりがより一層交通安全意識を高め、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけることにより、悲惨な交通事故を防止することを目的としています。

つきましては、三重製作所におきましても交通安全活動の一環として、下記事項を実施しますので、ご協力をお願いいたします。

記

1. 【実施内容】

・退勤時における交通安全立哨

2. 【日時】

※交通安全期間中に実施します。後日実施予定者の皆様のみ連絡いたします。

3. 【チェック項目】

1. 駐車場内止まれ標示・公道に出る際の一旦停止
2. ながら運転中（ながらスマホなど）
3. その他(白線を跨いでの走行・駐車や20キロ制限など)

4. 【実施場所・実施者】

場所	実施者	
軸受工場 第2駐車場 出入口	宮崎副工場長	労働組合 執行委員 柴田
軸受工場 第3駐車場 出入口	事務局	白戸課長
ローラー工場 社員駐車場 出入口	平林課長	労働組合 執行委員
ローソン多度店前 交差点	事務局	川井課長

5. 【立哨に際して】

- ・実施日については、他言無用をお願いいたします。
- ・当日にタスキを配布しますので着用願います。
- ・実施場所は各自で行って頂くようお願いいたします。
実施場所がローラー工場、ローソンの方は社有車にてお送りいたします。

以上

夏の交通安全県民運動

令和7年7月11日（金）～20日（日）

三重県交通安全県民運動スローガン

やさしさが安全つなぐ三重の道 ～歩行者のハンドサインは赤信号～



1 こどもと高齢者の交通事故防止

2 歩行者優先意識の徹底と
安全な横断方法の実践

3 シートベルトとチャイルドシートの
正しい着用の徹底

4 飲酒運転等の根絶

5 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と
交通ルール遵守の徹底

三重県・三重県交通対策協議会



チャイルドシート着用推進
シンボルマーク「カチカチン」



〒514-8570 三重県環境生活部 暮らし・交通安全課
TEL. 059-224-2410 FAX. 059-224-3069

夏の交通安全県民運動
実施要綱はこちら→



(事業場) 三重製作所 軸受工場	労働災害報告書	総括安全衛生管理者印 	人事総務・管理部長印 	安全主務課長印 	事業場長・工場長印 	課長印 	
(重大HHT) (重大HHT)		1)速報(L-11号) (25 年 6 月 13 日)		作成者 長崎 大児		印 	
A 災害状況の把握		2)報告(L-11・12号) (年 月 日)					
① 災害発生日時・場所・作業等の概要			② 被災者の特性			A(職種) 金属機械工作	
A(年月日) 年 月 日 '25 6 13	B(曜日) 金	C(稼働日) 平日	D(時間:24h表示) 時 分 2 : 00	E(時間帯) 定時内	F(天候) 晴れ	B 氏名	
G(課・稼働場) ターバー製作課 研削係		H(場所) 社内・場内		I(作業区分) 業務・非常		G 生年 月 日 (西暦) '21 年 4 月 1 日	
J(起因物) 照明		K(加害物) 配線		L(被災時の作業) 段取り作業		H 入社 月 日 (西暦) '21 年 4 月 1 日	
N(事故の型) 感電		O(現認者) 太田班長		M(単独) 作業		I(役職) 作業員	
③ 傷病の内容・程度・処置			N(現住所・TEL) TEL()			J(勤務) K(入社) 交替 正規	
A(部位) 右前胸部		D(処置方法)		O(安全衛生に係る資格・教育・職務) 研削係		L(雇用区分) 正規社員	
B(性質) —		E(診断書)		P 職場経験 ターバー製作課 '21 年 4 月 ~ 月 研削係区 年 月 ~ 月		年 月 ~ 月	
C(程度) (障害 級見込) 見込み		F(休業期間) 月 日 ~ 月 日		G(暦日日数) 日		年 月 ~ 月	
H(診断書)		I(医療機関・主治医・付き添い者名および所費)		なし		年 月 ~ 月	
④ 災害の発生状況		⑤ (速報発信時、安全衛生主務課長指示) 継続されていない活線状態の配線は、感電はもちろんのこと、ショートによる火災のリスクもあります。露出した配線がないか直検を実施し、万が一発見した場合は撤去などの適切な措置をおこなうこと。電気は目に見えない恐ろしさがあります。活線状態の有無に関わらず、使用しない配線は即日撤去または暫定処置(末端処理)し、計画的に撤去をおこなうこと。		⑥ 現場見取図および組織図		年 月 ~ 月	
① 作業者は、内径研削盤の段取り作業を行っていた		② 段取り部品(シュー)を外すため、設備に設置された踏み台に乗った		③ その後、体勢を保つために設備土台をつかんだ(写真①)		④ つかんだ際、付近に断線していた配線があることに気付かず、右上胸部が接触し、感電した(写真②)	
被災者は耐切削軍手を着用していた。		設備照明に使用している配線が断線していたが、普段より使用はしておらず、点灯していない状態が通常だった		設備機内照明用配線(100V)		普段意識して見る場所ではなかった	
写真① 段取り作業		写真② 被災した右上胸		被災箇所		工場長	
						課長	
写真③ 配線結合部品		※ 配線結合部が劣化し、配線が折れたことで配線がむき出しになっていた				係長	
						班長	
管理・監督者 氏名		(課長) 野中 洋樹		(係長) 長崎 大児		(班長) 太田 智樹	

B	災害防止	(日時) 20 年 月 日 : ~ :	(出席者)
		(場所)	

① 問題の分析

No.	分析項目	判定・評価	No.	分析項目	判定・評価
1	災害要因の区分	M(不安全状態)	5	作業標準書	あり ()
2	問題点の広がり	人 人・物 台・場所	6	ヒヤリ・ハット体験 収集・登録	無し ()
3	問題発生の経過	N(今回初めて)	7	過去の同種・類似 災害とその措置状況	なし (いつ頃)
4	法規等に照らして問題				

② 災害原因

“災害の発生状況”にもとづき災害原因を 原因追求の方法・要因分析を行なう。
人・物・作業および管理の面から記入すること。生産技術課、作業主任、産業医等専門家の意見も求める。

区分	No.	内容	区分	No.	内容
人	①	危険予知が出来ていなかった	作業	①	
	②			②	
	③			③	
	④			④	
物	①	使用していない照明配線が活線状態になっている	管理 他	①	
	②	劣化した照明器具がそのままになっている		②	
	③			③	
	④			④	

③ 同種・類似災害防止対策

- ①当該課長は、実施の方法を具体的に検討のうえ、速やかに措置すること。
- ②実施経過は、様式 1-1・2-3号および添付資料にまとめて、安全主務課に報告すること。
- ③安全主務課は、対策状況を確認のうえ、事業場長もしくは工場長に報告すること。

災害原因 区分 No.	改善対策項目 (なにを)	時期 (いつまで)	誰が (誰に)	実施の方法・内容 (どこで、どのように)	リスクレベル		フォロー・確認		
					対策前	対策後	完了日	管理監督者印	安全管理者印
人 ①	発生事例	月 日 6 13	課長	発生設備にて全課員に対し発生事例の周知を行い、KYTを実施	Ⅱ	Ⅱ	月 日 6 13	野中	野中
物 ②	照明の電源(該当ライン)	月 日 6 13	設備・技術 管理課	使用していない照明電源の撤去 ※内輪1ラインを含め、7機対応	Ⅲ	Ⅰ	月 日 6 11	野中	野中
物 ③	照明の本体(該当ライン)	月 日 6 13	設備・技術 管理課	使用していない照明の撤去	Ⅲ	Ⅰ	月 日 6 11	野中	野中
物 ④	照明の電源(全ライン) ※別紙調査シート参照	月 日 7 31	設備・技術 管理課	使用していない照明電源の撤去	Ⅲ		月 日		
物 ⑤	照明の本体(全ライン) ※別紙調査シート参照	月 日 7 31	設備・技術 管理課	使用していない照明の撤去	Ⅲ		月 日		
		月 日					月 日		
		月 日					月 日		

重大HITを発生させ、誠に申し訳ありません。
今回の災害については、日常的に繰り返す作業の
中で、使用していない部品(照明)の配線劣化に
気付かず、不安全状態を認識が出来ていないこと
で発生しています。
使用を止めた時点で、撤去するなどの処置
を含めて作業を完了するように対応します。
対応については、FIMSで打ち上げをし、
漏れがないように対応をフォローします。

重大HITを発生させてしまい申し訳ありません。
使用していない照明であっても、気に止まらない
ことに常態化してしまったことが問題であると
反省します。
物事の完了まで、始末/対策までを一連作業と
認識して、二次被害の発生に至らぬよう
従業員への展開と教育を進めていきます。

改善対策完了の最終承認

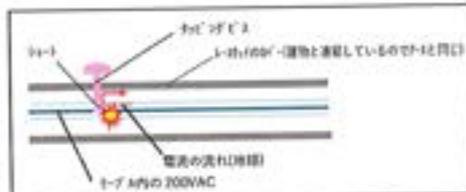
総括安全衛生 管理者印	本社安全主務 課長印
----------------	---------------

総括安全衛生
管理者コメント

総括安全衛生管理者	管理部長	安全管理者	部門長	課長	作成者
					

HHT 発生連絡

(いつ) 発生日時	2025年5月22日(木) 23:30 ごろ
(何処で) 発生場所	軸受工場 ニードル製作課 IR係区 包装エリア
誰が 被災者	改善管理係
何を して いて 業務 内容	油滴防止用屋根の設置
(どう なっ た) 被災 状況	配線がショートした(被災無し)
(災害 状況) 発生 経緯	<p>① 包装エリアの照明用レースウェイの上部に、油滴防止用の屋根を設置するため、折り畳み式作業踏み台を使用して作業を開始した。(照明設置高さ約 2300mm、折り畳み式作業踏み台高さ約 750mm)</p> <p>② レースウェイの上部からタッピングビスで固定するため、レースウェイの中を横から覗き込み、電気配線の位置を確認した。</p> <p>③ 奥の方は見えにくかったが、電気配線が下側に位置していたため、使用するタッピングビスの長さであれば電気配線には接触しないと思い込んだ。</p> <p>④ 屋根の設置が7割程度まで進んだ時、タッピングビスの先端でレースウェイの中の電気配線を傷つけ、パチンという音とともにショートした。</p> <p>※照明の一つが点灯しなくなった。 ※ショートした箇所は配線が中で束ねられていたが、認識できていなかった。 ※ヘルメット、保護メガネ、軍手を着用していた。 ※感電する可能性があった。 ※驚いて作業踏み台から転落する可能性があった。 ※脚立は天板に乗ることは禁止。(写真は踏み台)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真①: 作業時体勢(全体)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真②: 作業時体勢(上部)</p> </div> </div>



写真③:ショートした配線 図:断面図(電流の流れ想定)

<要因>

- ・電気配線が通っているレースウェイにタッピングビスで穴をあけた。
- ・電気配線には接触しないと思い込んだ。
- ・照明の電源を落とさずに作業した。

<対策>

- ・電気配線が通っている箇所に、穴をあけるなどの加工は行わないように指導と周知。
- ・照明などの電気設備や建屋に関連する作業は関係部門の許可なく行わないように指導と周知。
- ・電気配線がすぐ近くにある箇所での作業は、必ず電源を落としてから行うように指導と周知。

(安全・環境管理課からの指示事項)

指示事項	大丈夫だろうという思い込みで安全は担保できません。作業前の危険予知をおこない必ず安全確認すること！今回は幸いにも感電や転倒などで怪我を負うことはありませんでした。今後も災害を発生させぬようルールの制定と徹底をお願いします。
------	---

【情報指示経路】課長 ⇒ 係長 ⇒ 班長 ⇒ 課員

消毒液設置箇所の増設について

ポケテナシ 手すりを持って階段を昇降する

「手すりを持つよう推奨されているが、
接触感染予防の点から手すりを持つことに抵抗がある」、という打ち上げがありました。
そのため、各工場の階段1階・2階部分に手指用アルコール消毒を設置します。
いざというときに手すりがつかめるよう、

階段昇降時は、手すりを持つ又は添えて昇降しましょう



2025年6月度 安全パトロール実施結果

①日時:2025年6月18日(水)

時間:午後4:00~5:00

立会責任者:福田課長

実施者:西村

②日時:2025年6月26日(木)

時間:午後3:30~4:00

No.	ハザード (危険源)	危険・有害状態の表し出し	リスクアセスメント(上段:対策前/下段:対策後)						リスクコントロール
			リスクの見逃り		発生頻度	発生場所	発生時期	発生範囲	対応策
1	<リフト課出荷場> 構内歩行通路周辺 ガードレールと壁間	工場出荷場を出たところにある歩行通路のガードレールと壁の間に、使用済み(使用中?)の段ボール平板が散乱して置いてあるため、フォークリフト充電用配線が歩行通路内にはみ出して、通行者の踏きの恐れあり。 平板や配線を取り除いただけの対応に終わらず、置場の設定とルール遵守の手順を決めたものとしてください。	2	4	4	10	II	無	2
			責任者	納期	対策完了日				
			福田課長	7月11日					
			対策後写真						確認者コメント
									
2	<リフト課出荷場> 出荷場シャッター前 衝突防止ボール	出荷場前にある衝突防止ボールにリフト?衝突により、取り付けボルトが外れて曲がっており、危険である。発生日時・状況とも不明なこと、発生者より直接異常発生報告がないことが問題である。 朝礼にて事故内容については発信済みである。 尚、NTN三重様には修理をお願いしました。	2	4	4	10	II	無	1
			責任者	納期	対策完了日				
			福田課長	6月30日					
			対策後写真						確認者コメント
									

チェック項目	ここがポイント	配点	記事
1 一旦停止1	停まれ位置で、3秒間 一旦停止しているか？	—	未確認(歩行者)、リフトは徐行
2 一旦停止2	一旦停止後 始動時に、左右確認を指差呼称しているか？	—	未確認(歩行者)、リフトは徐行
3 ながら禁止	リフト爪の上昇・下降とリフト走行の前進・後進の「同時(ながら)」作業をしていないか？	10	ながら作業なし
4 後進後方確認	リフト後進時に、指差呼称で後方確認しているか？	5	後方確認しているが、指差呼称はしていない。
5 爪高さ確保	リフトの爪高さを地上から10～15cm程上げているか？	10	十分な高さを確保している。
6 バックレスト後傾	リフトのバックレストを後傾しているか？(約6°)	10	バックレスト後傾あり。
7 爪飛び出し	リフト爪先がパレット・カゴ等から飛び出していないか？	10	爪の飛び出しなし
8 カウンター優先	カウンターとリーチが同時作業する際、カウンター優先が徹底されているか？	10	長爪カウンターリフトが優先されているのを確認
9 作業安全確保	リフトに作業者が接近していないか？	10	リフトに近づいていないのを確認
10 急の付く作業禁止	急旋回・急停止・急発進していないか？	10	旋回作業で徐行しているのを確認
合計		75	

特に大きな指摘はないが、重要作業一項目に絞ってでも、『指差呼称』の実践を進めてほしい。

各部門の月間安全取組

7月5日 安全衛生委員会

	6月				7月		
	前月の目標	取り組んだ内容	結果	安全会議	今月の目標	取り組む内容	安全会議
	目標の内容	実際に行ったこと	目標が達成できたのか、未達の場合は原因は何か？	実施日	具体的内容に絞って目標を決める。	目標にそった具体的内容とし、確認・安全・基本動作等の漠然とした言葉は使わない。	予定日
輸送	リフト作業中、爪先に注意する。	荷物に合った爪の差し込みと目視を確実に行う。	安全作業をしてもらい、目標達成できた。	6/20	荷物を積み込む前に、状態を目で確認して指差呼称をする。	リフト作業前に荷物の状態をきちんと指差呼称して確認する。 『リフトの荷物の干渉・接触なしヨシ！』	7/5
リフト	爪先での作業の際は、爪の出し過ぎに注意する。	爪に引いたラインで適正な位置を確認する。死角で見えにくい場合は、リフトを降りて目視確認を行う。	事故なし	6/18	場内へ入る時は、指差呼称する。	場内へ入る時は一旦停止し、指差呼称する。 『左右確認ヨシ！』	7/5
青山	クレーン上昇時、指差(呼称)での確認、8～10割達成を目指す。	『クレーン上昇時、指差呼称で確認！』の唱和とお互いの声掛け。	唱和と声掛けを実施し、目標の8～9割達成し、無事故でした。	6/6	リフトの後方確認をしてから、後退する。	リフトの後方確認は指差呼称を行う。 『リフト後方確認ヨシ！』	7/5

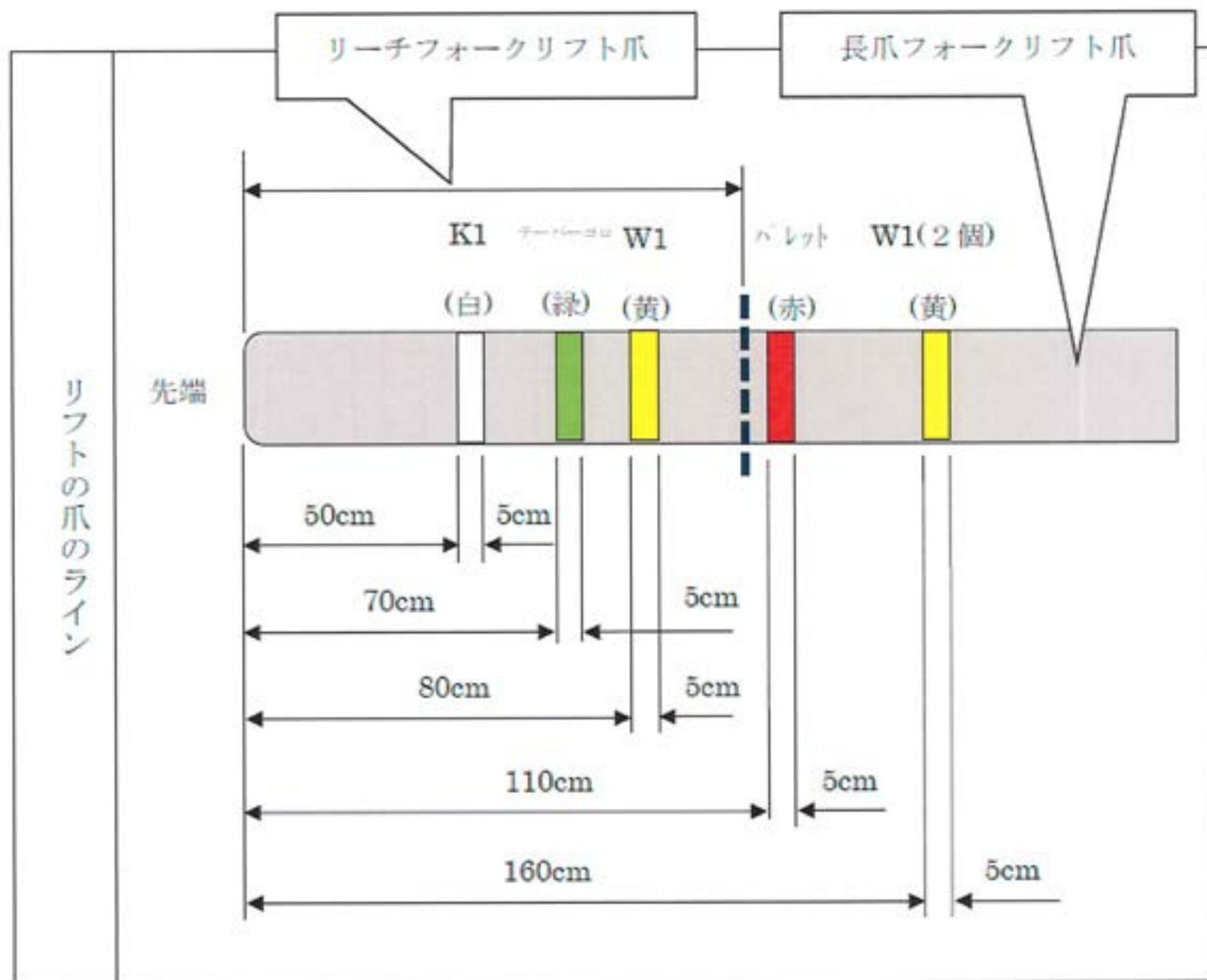
ブルーカーゴ機安全衛生委員会

※6/27(金)事務局までご提出をお願いします。期限前でも記入が終わり次第提出してください。
記入内容が具体的でない場合、連絡させていただきますので宜しくお願いします

ヒヤリ・ハット体験状況 2025年 6月度

No	種類	発生日	場所・状況	所属	作業	ヒヤリハット体験状況(どのような作業で・何を使用した時・どうなったのか)
1	交通事故 衝突ヒヤリ	—	一般道路 交差点	輸送	トラック	交差点で黄信号から赤信号に変わったため、急ブレーキを踏んでヒヤリとした。交差点では減速、急ブレーキは厳禁！
2	交通事故 衝突ヒヤリ	—	一般道路	輸送	トラック	前方車が急ブレーキを踏んだため、衝突しそうになりヒヤリとした。車間距離は十分にとる。
3	交通事故 衝突ヒヤリ	—	一般道路	輸送	トラック	駐車時にサイドブレーキを掛け忘れたため、車が動き出してヒヤリとした。降車する時は、サイドブレーキを掛け忘れない。
4	衝突ヒヤリ	—	全般 (前野段ボール)	輸送	リフト	荷物積み込み中、パレットから爪が出ており、荷台に置いたパレット上の荷物に爪を突きそうになりヒヤリとした。
5	接触ヒヤリ	—	全般	輸送	リフト	爪がはみ出していたため、荷崩れや爪突きキズが起きそうになりヒヤリとした。
6	接触ヒヤリ	—	全般	リフト	リフト	狭い通路でパレットがK1に接触して、部品が落下しそうになりヒヤリとした。
7	転倒ヒヤリ	—	全般	リフト	リフト	床面に油が零れており(台車等からの油漏れ・飛散が原因か?)、転倒しそうになりヒヤリとした。
8	衝突ヒヤリ	—	全般	リフト	リフト	リフト走行中に、通路横の鉄扉より通行者(作業着)が飛び出してきたので、ヒヤリとした。
9	接触ヒヤリ	—	全般 (ニチュラック)	リフト	サーバーリフト	ニチュラック(03-15-03)の三段目に置かれた黒パレット上にW1を載せようとしてパレット上に製品が置かれていないことを確認したつもりであった。しかしながら実際には中奥に段ボール箱がありこれに接触し、また隣のレーン(02-15-03)の三段目に置かれたポリ箱にも接触し、ヒヤリとした。
10						

衝突ヒヤリ(5件)、接触ヒヤリ(3件)、転倒ヒヤリ(1件)



2025 年度(7月)事業場別労働災害統計報告書

正規社員・外部社員

月 度	事業場	月末 在籍 人数	延 労 働 時間数	災害発生件数						一時不能日数 (暦日休業日数)				処置の方法		労働損 失日数	千人率			度数率			強度率	
				不 休 業	各休業日区分件数				全労災 合計	各休業日区分日数				外部 医療 機関	診療所 医務室 社内治 療		不休業 災害	休業 災害	全 災害	不休業 災害	休業 災害	全 災害		
					1日～ 3日	4日 以上	障害	休業 合計		1日～ 3日	4日～ 以上	合計	障害											
					A (人)	B (H)	C (件)	D (件)		E (件)	F (件)	G (日)												H (日)
6 月 度	給油	1	64.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	輸送	16	2,662.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	リフト	21	3,196.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	派遣 NTN三重製作所	3	504.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	派遣 ウチダ	2	336.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	一般	8	1,073.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	段ボール	4	406.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	青山	2	336.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	57	8,577.5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

薬箱確認 出荷場(6/24)・本社(6/24)・青山(6/24)

感染状況等	7月	2021年8月から累計
新型コロナ感染者	0	36
新型コロナ濃厚接触者	0	16
インフルエンザ感染者	0	/
合計	0	52

部署	事故発生日	起算日	延人数	無事故時間 起算日～当月15日
給油		R5.3.16	27	1,787.5
輸送	R7.5.19	R7.5.20	16	2,662.0
リフト	R7.5.21	R7.5.22	21	3,196.5
段ボール	R6.6.14	R6.6.15	48	4,261.0
青山		R5.3.16	57	8,809.5
		合計	167	20,716.5

会社全体	事故発生日	起算日	延人数	無事故時間 起算日～当月15日
無事故時間	R7.5.21	R7.5.22	57	8,578
無災害時間	R5.2.20	R5.3.16	1,677	261,071

※無災害時間の起算日は本来R5.2.21ですが
集計の関係上R5.3.16にしています。

※BC-R4-27(2023年2月20日発生)

重量物持ち上げによる腰痛(腰椎圧迫骨折)